

労働安全衛生総合 研究事業

厚生労働科学研究費補助金研究事業の概要

研究事業（研究事業中の分野名）：労働安全衛生総合研究事業
所管課：労働基準局安全衛生部計画課
予算額（平成16年度）：308,149千円
①研究事業の目的 職場における労働者の安全及び健康の確保並びに快適な職場の形成の促進するための研究を総合的に推進することを目的とする。
②課題採択・資金配分の全般的状況 <ul style="list-style-type: none">・ 事前評価委員会において専門的・学術的観点、行政的観点から高い評価を得た30課題（うち新規1）を採択し、資源配分を行った。・ 15年度採択課題一覧については別添参照
③研究成果及びその他の効果 <p>15年度においては11課題が終了しているが、このうち主な研究課題の成果及びその他の効果については、以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 職業性疾病の予防等に関する研究 頸肩腕障害について筋血流等を評価し、頸肩腕障害の客観的な評価に踏み出した。今後、頸肩腕障害の労災認定及び予防に貢献するものと考えられる。・ 職場における産業保健活動の向上に関する研究 産業保健活動の効果を支援環境、病院機能・医療等多方面から評価した。今後、産業保健活動の効果指標及び健康影響指標を確立する基礎資料となる。・ 職場における有害化学物質のリスク管理等に関する研究 化学物質の自主管理を支援するシステム、ツールを開発するとともに、自主管理推進上の問題点を明らかにした。・ 事業場における自殺予防に関する研究 労働者の自殺原因の解析を行い、メンタルヘルス対策の推進に有益な資料を得た。日本医師会の出版した自殺予防マニュアルにおいても研究成果の一部が引用されている。
④行政施策との関連性・事業の目的に対する達成度 <p>平成15年度においては、上記の成果が得られているが、これらの研究成果は随時行政施策に反映されるほか、事業場の安全衛生対策に取り込まれることにより国民に還元されることとなる。また、各事業とも、当初の目的を概ね達成している。</p>
⑤課題と今後の方向性 <p>平成16年度以降においては、これまでの研究をさらに発展させるとともに、過重労働防止、メンタルヘルス対策等についての研究を行うことを通じて、事業場の安全衛生水準の向上を図り、国民の安全で健康な生活を確保することとしたい。</p>

⑥ 研究事業の総合評価

労働者の安全と健康を確保することは最も重要な国民的課題の一つであり、労働災害による被災者数は年間55万人にも及び、1600人以上が死亡していること、また、過労死認定が年間300件以上に上っていること等からも、労働災害の一層の減少を図るため、本研究の重要性は高まっている。

我が国の社会経済システムが変革しており、企業においては、新しい経済環境に対処するため、アウトソーシングの増大、合併・分社化による組織形態の変化が進行し、労働者においては就業形態の多様化、雇用の流動化等が進行している。これらの点にも留意しつつ、本研究分野の一層の推進を図ることが必要である。

平成15年度厚生労働科学研究費補助金採択課題一覧

(単位:千円)

NO.	事業名	開始	終了	主任研究者	所属施設	職名	研究課題名	交付決定額
1	労働安全衛生総合研究事業	14	16	相澤 好治	北里大学	教授	職域の健康障害における作業因子の寄与と予防に関する研究	13,600
2	労働安全衛生総合研究事業	14	16	臼井伸之介	大阪大学	教授	不安全行動の誘発・体験システムの構築とその回避手法に関する研究	8,200
3	労働安全衛生総合研究事業	14	16	圓藤 吟史	大阪市立大学	教授	健康増進効果の高い保健指導の方法等に関する研究	11,500
4	労働安全衛生総合研究事業	14	15	大前 和幸	慶応義塾大学	教授	化学物質の自主管理推進のための支援システムの開発と産業現場での展開	4,200
5	労働安全衛生総合研究事業	14	15	織田 進	産業医科大学	教授	労働者の自殺原因に関する研究	9,100
6	労働安全衛生総合研究事業	14	15	加地 浩	岩見沢労災病院	病院長	不安全行動の自己診断による予測とその回避手法に関する研究	5,000
7	労働安全衛生総合研究事業	14	16	川上 憲人	岡山大学	教授	労働者の自殺リスク評価と対応に関する研究	7,400
8	労働安全衛生総合研究事業	14	16	金 吉晴	国立精神・神経センター	部長	テロ等による勤労者のPTSD対策と海外における精神医療連携に関する研究班	6,500
9	労働安全衛生総合研究事業	14	15	國島 正彦	東京大学	教授	ヒューマンファクターに着目した災害原因調査手法の開発に関する研究	9,300
10	労働安全衛生総合研究事業	14	16	神山 宣彦	(独)産業医学総合研究所	研究部長	作業環境中有毒物質濃度の連続測定による二次元可視システムの開発とその応用	8,400
11	労働安全衛生総合研究事業	14	16	坂井 公	東京労災病院	センター長	産業中毒の予防と診断のための生体試料中有毒物質及びその代謝物・付加体の超微量分析手法の開発研究	6,000
12	労働安全衛生総合研究事業	14	16	櫻井 治彦	中災防労働衛生調査分析センター	所長	職域における健康診断と精度管理のあり方に関する研究	9,000
13	労働安全衛生総合研究事業	14	16	佐々木 哲也	(独)産業安全研究所	助教授	負荷履歴の影響を考慮した経年圧力設備の高信頼度弾塑性破壊評価手法の開発	4,745
14	労働安全衛生総合研究事業	14	16	島 悟	東京経済大学	教授	うつ病を中心としたところの健康障害をもつ労働者の職場復帰および職場適応支援方策に関する研究	6,100
15	労働安全衛生総合研究事業	14	16	下光 輝一	東京医科大学	教授	職場環境等の改善等によるメンタルヘルス対策に関する研究	7,500
16	労働安全衛生総合研究事業	14	15	城内 博	日本大学大学	教授	簡便な快適度アセスメント手法の開発に関する研究	9,200
17	労働安全衛生総合研究事業	14	15	関根 和喜	横浜国立大学	教授	確率・統計的手法を用いた労働災害のリスク同定・評価とその事故防止施策の意志決定への応用	4,600
18	労働安全衛生総合研究事業	14	16	名古屋俊士	早稲田大学	教授	最適必要排风量と光触媒を用いた効率的な有害物質発散防止システムの構築に関する研究	4,600
19	労働安全衛生総合研究事業	14	16	那須 民江	名古屋大学	教授	フロン代替剤1-ブロモプロパンのリスク評価	6,400
20	労働安全衛生総合研究事業	14	16	荷福 正治	(独)産業技術総合研究所	主任研究員	リサイクル品・廃棄物処理工場での粉塵爆発災害の防止に関する研究	11,500
21	労働安全衛生総合研究事業	14	16	東 敏昭	産業医科大学	教授	今後の産業保健のあり方に関する研究	12,000
22	労働安全衛生総合研究事業	14	15	平田 衛	(独)産業医学総合研究所	主任研究員	上肢における筋骨格系障害の診断と防止に関する研究	4,200
23	労働安全衛生総合研究事業	14	15	古川 久敬	九州大学	教授	組織内の「問題事象」に潜む心理メカニズムの解明に基づく人間特性を考慮した安全衛生管理システムの開発研究	5,700
24	労働安全衛生総合研究事業	14	15	前原 直樹	(財)労働科学研究所	所長	ヒューマンファクターに着目した災害原因調査手法の開発に関する研究	5,700
25	労働安全衛生総合研究事業	14	16	山本 静護	日本バイオアッセイ研究センター	副所長	臭素化ダイオキシン類の毒性評価に関する研究	39,240

平成15年度厚生労働科学研究費補助金採択課題一覧

(単位:千円)

NO.	事業名	開始	終了	主任研究者	所属施設	職名	研究課題名	交付決定額
26	労働安全衛生総合研究事業	14	16	吉川 典彦	名古屋大学	教授	水素ガス漏洩爆発作業安全基準策定のための被害評価方法の確立-次世代燃料利用技術開発に伴う災害防止への対応	10,600
27	労働安全衛生総合研究事業	14	16	吉田 勝美	聖マリアンナ医科大学	教授	健康増進効果の高い保健指導の方法等に関する研究	5,800
28	労働安全衛生総合研究事業	14	15	矢野 栄二	埼玉医科大学	教授	産業保健活動の効果指標及び健康影響指標に関する研究	7,500
29	労働安全衛生総合研究事業	14	16	久保 國興	(社)日本作業環境測定協会	会長	リスクアセスメントへの対応のための作業環境測定に係る簡易測定方法等に関する研究	9,900
30	労働安全衛生総合研究事業	15	15	白井 康正	日本医科大学	教授	座作業における腰痛予防に関する調査研究	5,000

食品医薬品等リスク分析 研究事業

厚生労働科学研究費補助金研究事業の概要

研究事業 （研究事業中の分野名）：食品の安全性高度化推進研究事業
所管課 ：医薬食品局食品安全部企画情報課
予算額 （平成16年度）：1,527,073千円
①研究事業の目的 （H16年度） 食品の安全管理システムの高度化や危機管理の強化、リスクコミュニケーション手法の確立等の研究や、個別問題（BSE、遺伝子組換え食品、食品中に残留する化学物質等）についての研究を実施、それらの成果を活用することにより、食品に関する国民の不安を解消し、安全な食生活の確保に資することを目的とする。
②課題採択・資金配分の全般的状況 平成15年度採択については別紙参照
③研究成果及びその他の効果 カドミウムに関する研究では、食品中のカドミウムの国際基準検討に対する日本提案の根拠として活用され、その結果、日本提案に沿った国際基準の改正がおこなわれた。 ダイオキシンに関する研究では、一日摂取量調査結果が行政のパンフレット等に使用されるとともに、FAO/WHOに、日本の汚染データとして報告されている。 食品用香料に関する研究では、開発された含有測定量が規格試験法として採用され、活用されている。
④行政施策との関連性・事業の目的に対する達成度 ③にあるように、研究成果については、「安全性の評価」や「規格基準の作成などのリスク管理措置」などに反映されており、行政施策との関連性は深く、その点からも、「安全な食生活の確保に資する」という事業目的に対する達成度は高いと思われる。
⑤課題と今後の方向性 食品に関する安心・安全性の確保を行うことが重要であることから、これまでの研究をさらに充実・発展させていくとともに、「BSEの食品を介したヒトへのリスク分析/評価」「いわゆる健康食品の安全評価・確保」「アレルギー表示法と分析法の確立」「輸入食品の安全対策」等の新たな個別課題や、リスクコミュニケーション手法構築等の食の安心にかかる問題についてより強力に取り組んでいく必要がある。
⑥研究事業の総合評価 本研究事業は、その研究成果が食品安全行政に反映されており、科学的根拠に基づくリスク管理を進める上で、重要かつ有益である。BSE問題や鳥インフルエンザ問題など食品をとりまく問題に関する国民の関心は高く、食品の安全確保に資する研究開発をより一層強化する必要がある。

平成15年度厚生労働科学研究費補助金(食品安全確保研究事業)採択課題一覧

【食品安全推進総合研究分野】

No.	開始	終了	主任研究者	所属施設	職名	研究課題名	交付決定額 (単位:千円)
1	14	16	玉木 武	社団法人日本食品衛生協会	副理事長・食品衛生研究所長	食品企業における健康危機管理に関する研究	24,000
2	15	17	古江 増隆	九州大学大学院医学研究院皮膚科学分野	教授	熱媒体の人体影響とその治療法に関する研究	120,360
3	15	17	丸井 英二	順天堂大学医学部	教授	健康保護を目的とした食に関するリスクコミュニケーションの進め方に関する研究	20,000
計							小計 164,360

【バイオテクノロジー応用食品対策研究分野】

4	15	17	長尾 拓	国立医薬品食品衛生研究所	所長	バイオテクノロジー応用食品の安全性確保に関する研究	60,000
計							小計 60,000

【新開発食品対策研究分野】

5	13	15	池上 幸江	大妻女子大学家政学部	教授	特定保健用食材の安全性及び有用性に関する研究	11,300
6	13	15	斎藤 衛部	独立行政法人国立健康・栄養研究所食品機能研究部	部長	特定保健用食品素材等の安全性及び有用性に関する研究	14,400
7	13	15	花田 信弘	国立感染症研究所口腔科学部	部長	特定保健用食材の安全性及び有用性に関する研究	9,500
8	14	16	奥山 治美	名古屋市立大学薬学部	教授	数種の食用油に含まれる微量有害因子に関する研究	15,700
9	15	17	梅垣 敬三	国立健康・栄養研究所健康影響評価研究室	室長	高齢化社会への対応や生活習慣病の予防を指向した食品素材の安全性・有効性データベース作成	15,000
計							小計 65,900

【牛海綿状脳症対策研究分野】

10	14	16	佐多 徹太郎	国立感染症研究所	部長	プリオン検出技術の高度化及び牛海綿状脳症の感染・発症機構に関する研究	90,000
11	14	16	岡田 義昭	国立感染症研究所血液・安全性研究部	室長	血液中でのプリオンタンパクの存在様式の解析と血液製剤からのプリオン除去の研究	12,625
12	14	16	田代 真人	国立感染症研究所ウイルス第三部	ウイルス第三部長	牛由来成分を使用しない新たなワクチン製造の開発に関する研究	20,000
13	13	15	山崎 壮	国立医薬品食品衛生研究所食品添加物部	食品添加物部第二室長	異常型プリオン蛋白質汚染のインビトロ高感度検出法の開発	9,000
計							小計 131,625

【添加物及び汚染物質に関する研究分野】

14	13	15	櫻井 治彦	中央労働災害防止協会労働衛生調査分析センター	所長	食品中に残留するカドミウムの健康影響評価について	36,000
15	13	15	米谷 民雄	国立医薬品食品衛生研究所食品添加物部	部長	食品用香料及び天然添加物の化学的安全性確保に関する研究	25,100
16	13	15	外海 泰秀	国立医薬品食品衛生研究所大阪支所食品試験部	部長	残留農薬分析の効率化と精度向上に関する研究	9,800
17	13	15	広瀬 雅雄	国立医薬品食品衛生研究所	病理部長	食品中化学物質の毒性評価に及ぼす精要因に関する調査研究	29,100
18	13	15	有田 幸司	熊本県立大学環境共生学部	教授	食品用の器具、容器包装などの安全性の評価法等に関する研究	6,100
19	13	15	河村 薫子	国立医薬品食品衛生研究所食品添加物部	第三室長	食品用器具・容器包装等の安全性確保に関する調査研究	13,500
20	14	16	清河 信敬	国立小児病院医療研究センター病理病態研究部・病理研究室	病理研究室長	バイオフラボノイドの遺伝子再構成作用に関する研究	19,000
21	14	16	西川 秋佳	国立医薬品食品衛生研究所病理部	病理部第一室長	反復投与毒性や発がん性試験等の実施による既存添加物の安全性評価に関する研究	40,000
22	14	16	佐藤 恭子	国立医薬品食品衛生研究所食品添加物部	食品添加物第二室長主任研究官	既存添加物の安全性確保に必要な品質問題に関する研究	30,000
23	15	16	和田 俊	東京水産大学食品生産学科	学科長(教授)	油脂加工食品中に生成する脂質酸化物の安全性に関する研究	13,000
24	15	17	種山 浩	国立医薬品食品衛生研究所食品部	室長	担子菌類中の有害物質の評価に関する研究	13,000
25	15	17	加藤 保博	(財)残留農薬研究所(化学部)	部長	食品中の残留農薬、汚染物質の摂取量等に関する研究	36,000
26	15	17	神谷 研二	広島大学原爆放射線医学研究所	教授	既存添加物の発がん性等に関する研究	71,066
27	15	17	林 真	国立医薬品食品衛生研究所変異遺伝部	部長	既存添加物等における遺伝毒性評価のための戦略構築に関する研究	17,000
28	15	17	鶴淵 博	大阪市立大学大学院医学研究科都市環境病理学	助教授	既存添加物の発がん性等に関する研究	71,066
計							小計 429,732

【食品中の微生物等対策研究分野】

29	13	15	西尾 治	国立感染症研究所感染症情報センター	第6室長	食品中の微生物汚染状況の把握と安全性の評価に関する研究	13,400
30	13	15	山本 茂貴	国立医薬品食品衛生研究所食品衛生微生物部	食品衛生管理部長	食品中の微生物のリスク評価に関する研究	35,600
31	13	15	五十君 静信	国立医薬品食品衛生研究所食品衛生管理部	第一室長	食品由来のリストeria菌の健康被害に関する研究	21,200
32	13	15	品川 邦汎	岩手大学農学部	教授	食品製造の高度衛生管理に関する研究	57,000

33	13	15	三森 国敏	東京農工大学農学部家畜病理学講座	教授	畜水産食品中の化学物質残留防止対策に関する研究	10,000	
34	14	16	小熊 重二	岡山大学大学院医歯学総合研究科病原細菌学	教授	容器包装詰低酸性食品のボツリヌス食中毒に対するリスク評価	45,600	
35	15	17	山田 暁雄	国立感染症研究所獣医科学部	国立感染症研究所獣医科学部	食品を介する家畜・家禽疾病のヒトへのリスク評価およびリスク管理に関する研究	30,000	
36	15	17	渡邊 治雄	国立感染症研究所細菌第一部	部長	食中毒菌の薬剤耐性に関する疫学的・遺伝学的研究	25,000	
計							小計	237,800

【食品中の化学物質対策研究分野】

37	13	15	松田 りえ子	国立医薬品食品衛生研究所食品部	室長	食品中の有害物質等の評価に関する研究	33,500
38	13	15	多田 裕	東邦大学医学部新生児学教室	教授	母乳中のダイオキシン類と乳児への影響に関する研究	38,000
39	13	15	佐々木 久美子	国立医薬品食品衛生研究所食品部	第一室長	ダイオキシンの汚染実態の把握及び摂取低減化に関する研究	85,500
40	13	15	中川 礼子	福岡県保健環境研究所	生活化学課長	食品中臭素化ダイオキシン及びその関連化合物の汚染実態の解明に関する研究	4,900
41	14	16	柳澤 健一郎	(財)食品医薬安全センター	理事長	ダイオキシン類等の化学物質の食品及び生体試料検査における信頼性確保と生体暴露モニタリング法の確立に関する研究	85,150
42	15	17	今井 俊夫	国立医薬品食品衛生研究所病理部	第三室長	アクリルアミドの生成抑制及び毒性抑制に関する研究	15,000
小計							262,050

合計(42件) 1,351,467